



国際キャリア実習 2022年度実習報告

2023.06.01

国際学部 4 年 丸山浩平

Contents

実習概要

実習期間、場所、
実習先など

活動詳細

実際の活動及びその成果

反省感想

評価できること
改善点

生活

実習中の過ごし方



實習概要



實習期間



2023.02.25

スリランカ入国

2023.03.23

実習先出発



2023.02.27

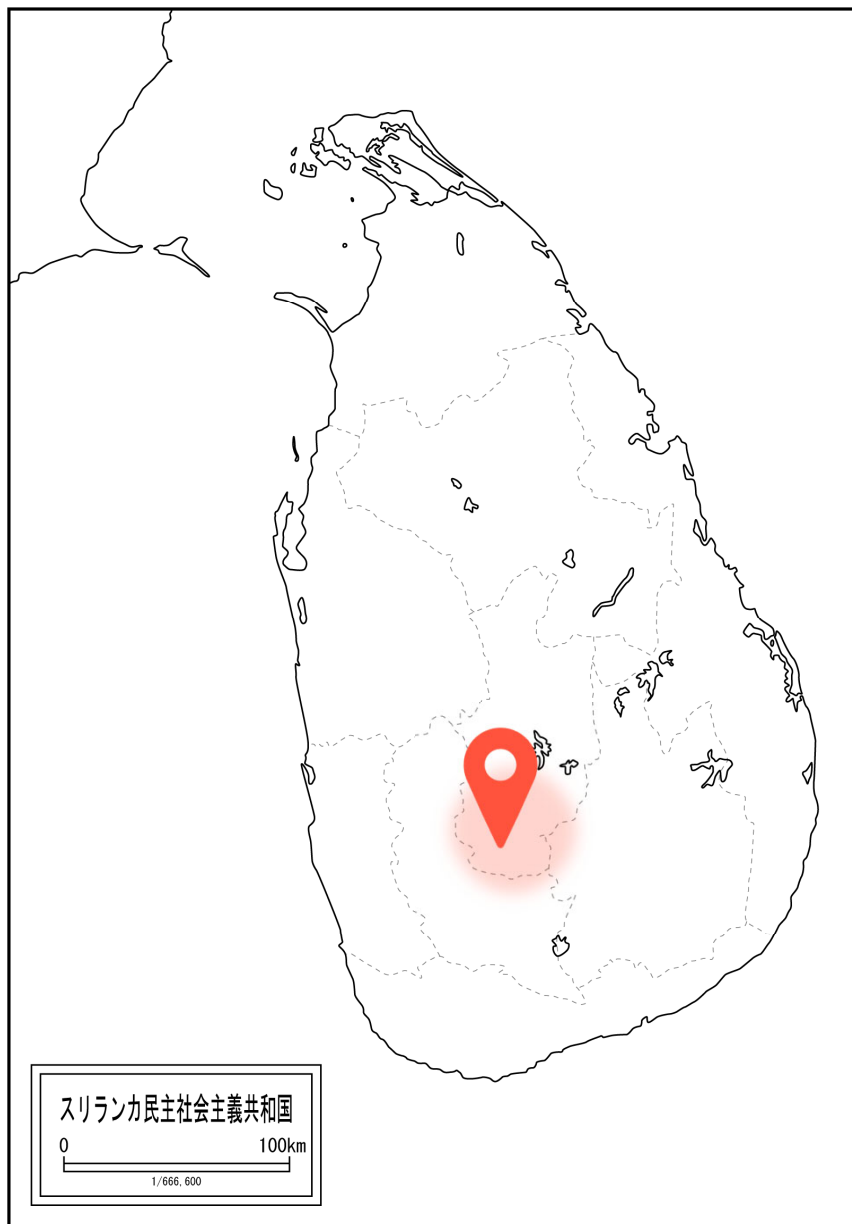
実習先到着

2023.03.24

スリランカ出国



活動場所



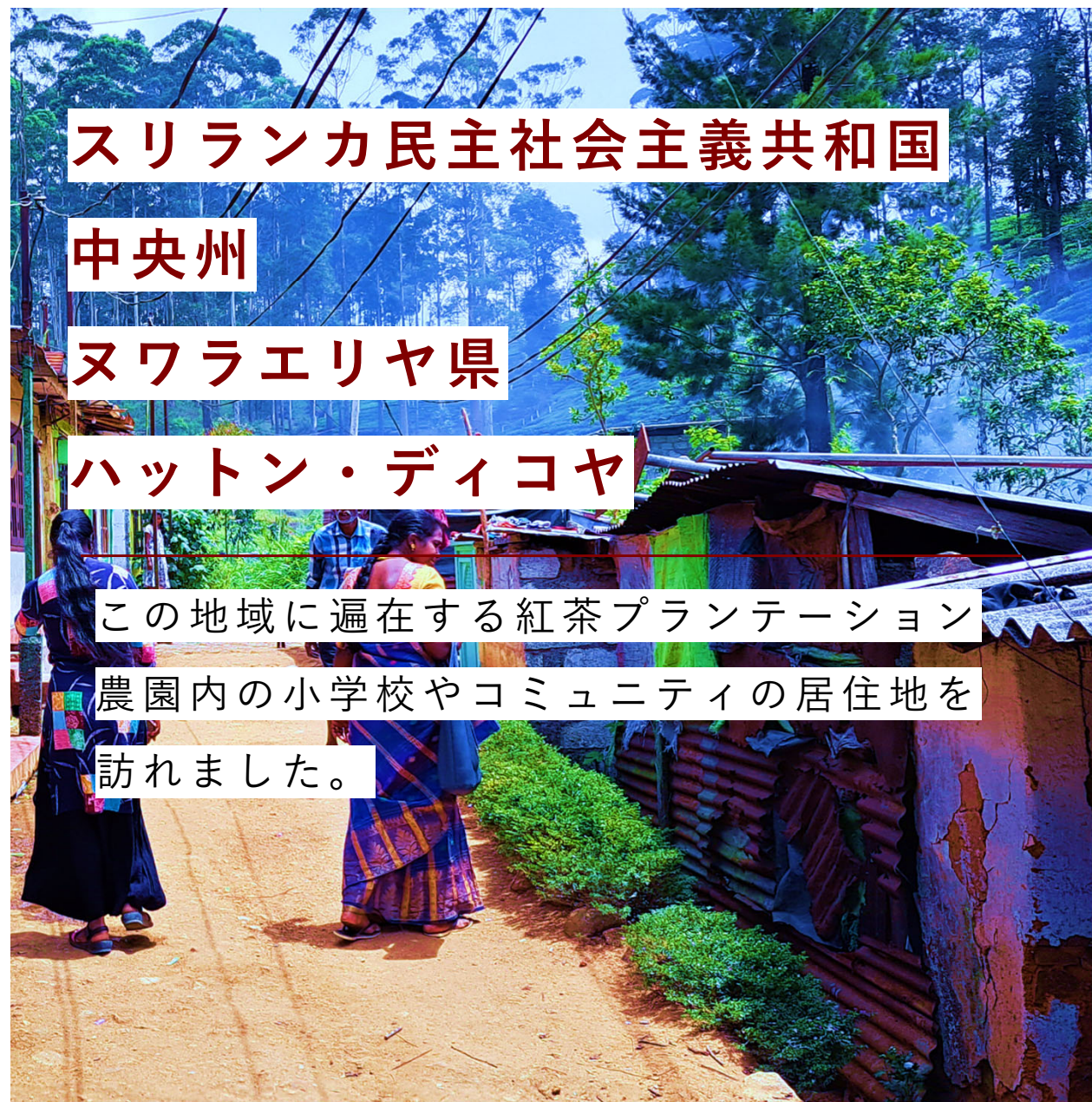
スリランカ民主社会主義共和国

中央州

ヌワラエリヤ県

ハットン・ディコヤ

この地域に遍在する紅茶プランテーション
農園内の小学校やコミュニティの居住地を
訪れました。





受人機關



SEVALANKA
FOUNDATION

セワランカ財団

サルボダヤに並ぶ、スリランカでも最大規模のNGO. コミュニティ開発のほかにも、災害救助や環境保護活動など幅広く市民活動を展開する。

参照: [Sevalanka Foundation - Home](#)



活動概要



発育調査

学校に通う子どもの
BMIを測定・記録。



職業調査

子どもに両親の職業を
聴取。



生活調査

コミュニティ居住地で
生活について聴取。



活動詳細

发育調査

3 か所の学校において、5～16歳の子ども
を対象に身長・体重を計測しBMIを算出。

総計 700 名のうち、約 **3** 割が **低体重** の状態
にあることが分かった。

職業調査

発育調査と並行して、保護者の職業を聴取。

母親は約半数が農園労働者、残りを都市部
や中東での出稼ぎと主婦で分け合う形に。

父親は約4割が農園労働者が占め、3割が
出稼ぎ、無職が1割程度であった。

生活調査

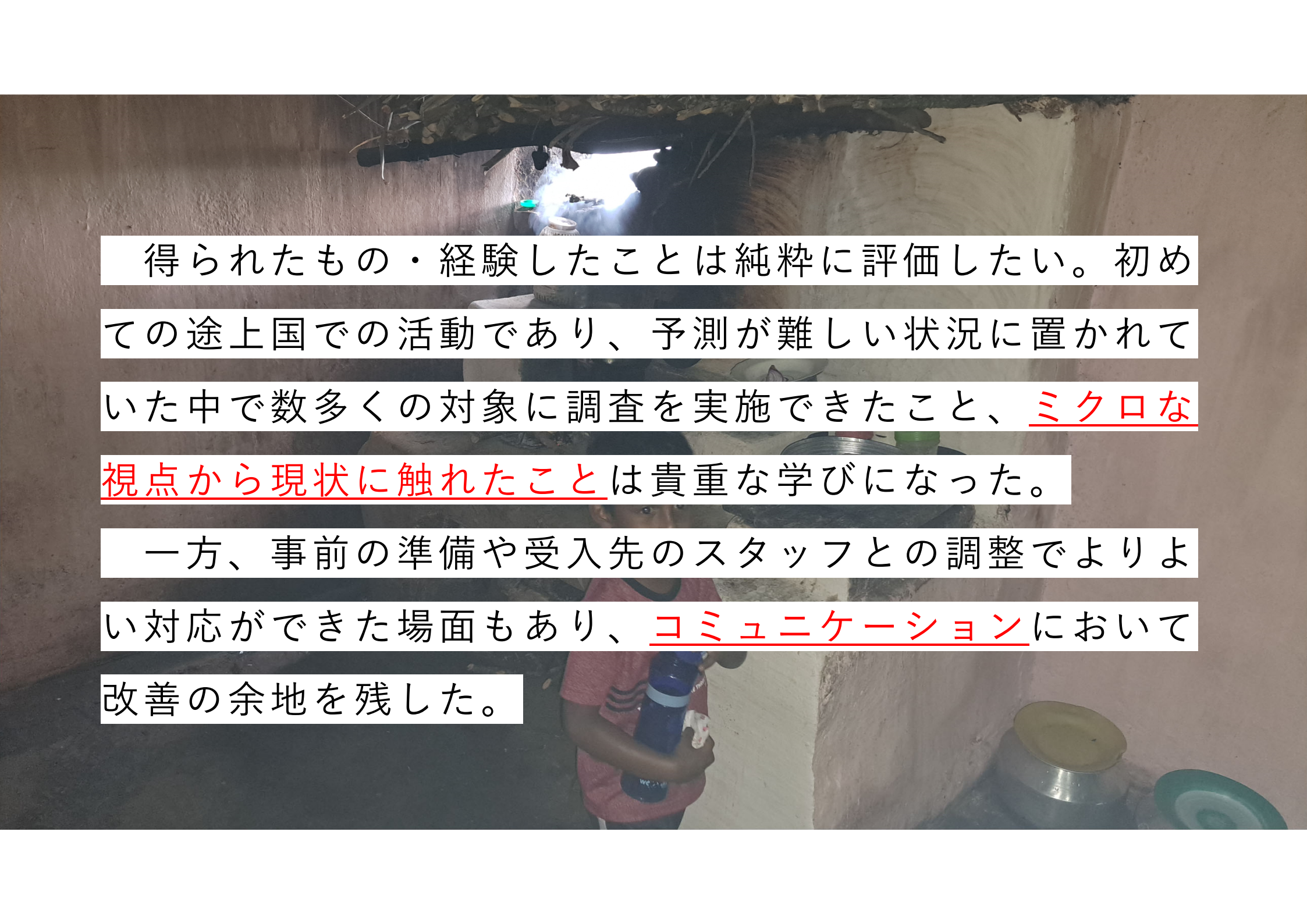
4カ所の居住地でフィールドワークを実施。

各世帯間、各居住地間、各農園間で個別に
程度や次元が異なる課題を抱えていること
を学んだ。

Ex.収入、公共サービスへのアクセスetc.



反省および感想

A person wearing a red t-shirt is holding a blue water bottle. They are in a rustic kitchen with a mud-brick wall and a thatched roof. In the background, there is a bright opening, possibly a doorway or a window, and some kitchen items like a green bowl and a metal pot are visible on a surface.

得られたもの・経験したことは純粋に評価したい。初めての途上国での活動であり、予測が難しい状況に置かれていた中で数多くの対象に調査を実施できたこと、ミクロな視点から現状に触れたことは貴重な学びになった。

一方、事前の準備や受入先のスタッフとの調整でよりよい対応ができた場面もあり、コミュニケーションにおいて改善の余地を残した。



実習中の生活など



航空券は
15万円弱



宿泊費は
¥8,000程度



通信は比較的安定



食事はカレー中心



水道水は飲めません



毎回同じとは限りません



ご清聴

ありがとうございました。